



みがき、むすび、きりひらけ「新時代」

11月「霜月」になりました。文字どおり霜が降りるような日がやってくるでしょう。

本来の、寒い時期の体調を崩す病気も流行するかもしれません。うがい・手洗い・消毒、検温とくれぐれも体調に留意してまいりましょう。

さて、本日より、いよいよ第2回「やまぶき祭」です。

この2学期、子ども達はこのお祭りに向けても疾走してきました。

小学部6年生2名を始めとして、中学部3名、高等部3名の合計8名の子どもたちがやまぶき祭実行委員会を立ち上げています。そしてこのスローガンを掲げてくれました。

去年よりもさらに楽しく元気に レッツトライ新時代!

去年の、初めてのやまぶき祭の動画が、本校ホームページにあげてあります。何度も見ているという方もいらっしゃると思いますが、ぜひ、御覧になってみてください。

実行委員会の子どもたちが「去年よりもさらに楽しく元気にやる」と言うのです。

楽しみですね。

「レッツトライ新時代!」ということですが、どんな新しい時代を作っていくのでしょうか。

現在の中学部や高等部の子どもたち以上の方(27歳くらいまでの方だそうです)はZ世代、小学部の子どもたちはその次のα(アルファ)世代などと呼ばれています。

どちらもインターネットやSNS、Webサービスが当たり前の中で育ってきている世代です。

授業を見ている、タブレット端末を使用している姿は、昔とは変わってきたなと思います。

このような便利なものが当たり前であるという時代ですが、少子高齢化が進んだり、コロナ禍も影響したか、関係性が希薄になったり、先行きが不透明な社会などということも言われます。

話を元に戻しますが、元々、「祭り」とは、「感謝や祈り、慰霊のために神仏または祖先をまつる行事」だそうです。「秋祭り」というのがありますが、これは豊かに実った作物を祝い、神仏に感謝し、生きることを喜び、人々の集まりをさらに育てるために行ってきたものとのこと。

さあ、「やまぶき祭」も子ども達の成長を確かめ合って、それに関わってくださった皆様に感謝し、さらなる「みがく むすぶ きりひらく」の場になりますように。「新時代」にトライしてまいりましょう!

どうぞ御声援を。そして、お楽しみください。

校長 丸岡 恵真

第2回 やまぶき祭

スローガン
「去年よりも さらに楽しく元気に
レッツトライ新時代!」
EYやまぶき祭実行委員会

令和5年度

11月1日(水) 11月2日(木)
参観時間 10:00~11:50
受付9:45~

1日目は、主に中学部・高等部の取組発表
2日目は、主に小学部及び実習部取組発表

▶両日とも児童生徒の下校はスクールバス「平日ダイヤ」です。
▶両日とも学校公開・保護者参観日です。
▶1日、2日のお楽しみ抽選会を1日のお参観日開催します。
▶1日午後後の高等部の取組については、高等部保護者、PTA本部役員、学部
役員を対象に公開します。抽日、取組の様子を動画(YouTube)で限定配信
を行います。

京都府立井手やまぶき支援学校

京都府立井手やまぶき支援学校
〒612-8270 井手町 電話 0774-82-7010 0774-82-7011

■ PTA 活動の紹介 ■

10月、『給食試食会・学部親睦会』を実施しました。

給食試食会は、井手やまぶき支援学校で初めての取組で、中学部・高等部の修学旅行期間を利用して、学部毎に実施をしました。どの学部も3分の1程度の保護者の方に参加いただきました。毎日、子ども達がどのような給食を食べているのかを知るだけでなく、栄養教諭の先生から給食についてのお話しをしてもらったり、医療的ケア児童等が食べているペースト状の給食も試食できたりと、とても良い機会となりました。

給食を食べながらの親睦会も、普段はなかなかお話しをする機会の無い保護者同士で交流することができ、良い時間となりました。御参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

また、PTA小学部では、併せて『靴のリユース会』も実施しました。すぐにサイズアウトしてしまう靴を再利用できるということで、よい取組だと好評でした。

毎月行っているYS(やまぶきサポーター)にも、御協力いただきありがとうございます。活動をしながら、和気あいあいと交流もできます。今後も随時、募集のお知らせをしていきますので、多数の御参加お待ちしております。



いただきます

給食試食会・学部親睦会

YS(やまぶきサポーター)

いってらっしゃい

としまぎょう

■ 三菱プロジェクト～三菱みらい育成財団に関わる取組～

児童生徒の心のエンジンを駆動させる取組を!とスタートした三菱みらい育成財団の教育助成のプログラムとして、大きく4つの取組があります。この取組の中で、子どもたちの心が「わくわく」「ドキドキ」させたり、「やってみよう!」「よし!がんばろう」と意欲を高めたりしてほしいと考えました。

「地域の方々とのふれあい」に関しては、いずみ人權交流センターや井手町役場の地域創生推進室の方々にインタビューにいき、井手やまぶき支援学校についての質問や今後一緒に取り組みたいこと等をお聞きしました。また、図書ラウンジにおいて「子育てサロン」を実施し、生徒たちによる読み聞かせを披露しました。

「学校アピール」は少しでも地域の方々に私たちの学校を知ってもらおうと、国語科や情報科の時間に、やまぶグッズを考案する取組を進めています。「やまぶタオル」や「やまぶ貯金箱」等アイデアいっぱい。このグッズを使ってどのように学校をアピールするのか。今後じっくりと考えていきます。

「地域貢献型作業学習」については、昨年度に引き続き、三山木駅周辺や施設清掃等に取り組んでいます。今年度より、井手町役場のお隣にできた「テオテラスいで」にて販売スタート。販売を通して、どんどん地域に貢献していきます。

「みかく自立活動」は、全学部対象に!!たすく株式会社の齊藤宇開氏を招聘して、自閉スペクトラム症の子どもたちの自立活動について学ぶ機会を設けました。感覚に関わる学習の難しさ等にクローズアップし、12年間をむすぶ支援のヒントを得ることができました。

心のエンジンをかけることで、児童生徒の力は最大限に発揮できます。今後も、児童生徒が「わかった!」「なんで?」と思考を巡らせ学びに向かい、光り輝くために、学校生活の中で心のエンジンを駆動させていきます。そのために、指導者も障害や進路に関わることなど研修を行い、より児童生徒の心のエンジンをかけるための指導技術を高めます。



地域の方々とのふれあい

学校アピール

心のエンジンをかける取組

地域貢献型作業学習

みかく自立活動